

2025 海員春闘 組合員と家族の生活を守る中央交渉スタート
物価上昇に負けないベースアップを目指す

3 月 3 日の 13 時 30 分から、海員福祉研修会館（ホテルマリナーズコート東京）で、日本カーフェリー労務協会との第 1 回交渉(呼称=日本カーフェリー交渉委員会)が開催され、国民生活を直撃する物価上昇から、組合員とその家族の生活を守るための海員春闘の中央交渉が始まった。

海員組合と各船主団体（日本カーフェリー労務協会・内航二団体・全内航）で行われる労働協約改定の中央交渉は、わが国の船員社会の賃金水準を引き上げるけん引役としての役割を果たしている。今次春闘取り巻く状況は、予断を許さないロシアのウクライナ侵攻、中東情勢、米国の関税障壁など不安要素が増える中、終わりの見えない物価高から労働者の生活が破綻することがないように、そして日本の海上物流を中心とした経済活動が停滞・破綻しないよう交渉の舵取りは難しい。海運業・水産業の業界の将来を見据えての判断が求められる。

各船団との第 1 回中央交渉は、13 時 30 分からの日本カーフェリー労務協会との交渉を皮切りに、14 時 30 分から内航二団体、15 時 20 分から全内航と交渉を行い、各交渉で組合要求の趣旨説明を行い、各船団とも組合要求に対し真摯に検討したいとし、次回交渉日程を確認し終了した。

「海員だより」